

こおろぎ

発行日 2006年11月1日 No.165
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

ウォーキング

9月30日の日曜日に、50kmと30kmのウォーキングを行いました。この会も今年で4回目になり、今回は小児癌で義足となった少年とその家族が参加してくれました。

一口に30kmと言いますが、休みなく歩いて6時間はかかる距離です。普段、歩いていない人なら15kmを過ぎたあたりから足が痛くなり、歩くことが辛くなります。私は昔、歩きお遍路さんをしたことがあります。お遍路さんや長い距離を歩くことは、人生を生きることとよく似ています。今回は、ウォーキングやお遍路さんから学んだ「人生の生き方のコツ」を簡単にまとめてみます。

まず教訓の一つ目は、「人生は、辛くても、苦しくても、自分で歩くしかない」ということです。

人生では色々な問題と出会うことがあります。そんな時、カウンセラーなどの専門家に相談することも良い方法ですが、結局、自分の問題を解くために努力するのは自分だということです。誰も、私の代わりに私の人生を作ってくれる人はいないのです。

時々、子どものことを思って、何とか力になるうとする親御さんがいますが、意見を聞くも聞かないも、その人次第、その子の問題を解くことはその子にしか出来ないことなのです。

教訓の二つ目は、「目的(夢)を持つこと」です。

ウォーキングの最中、「ゴールするんだ」という目的に向かっていく時には、多少足が痛くても歩けるものです。しかし、目的(夢)を見失い、「こんなことをやって何の意味があるんだ?」とか「リタイアしたいな」という気持ちに目を向けると、足の痛みは一層ひどくなり、歩くことが更に困難になります。

第三点目は、「意識を外に向け、周囲をよく観察すること」です。

お遍路さんには「橋の上では杖を突かない」とか「お地蔵さんや神社を見つけたら手を合わせる」という決まりがあります。ですから、どんなに頑張って歩いて、周囲の状況を見ようと無視すると失敗になってしまいます。こうしたお遍路さんの決めは、人生をよく生きるためにも、周囲をよく観察して、その時々に必要な行動をとることが必要だということを私達に教えてくれている気がするのです。

今回のウォーキングで大変感動したのは、先に紹介した義足の少年が道路のゴミを拾いながら歩いたことです。私などは、ゴールすることばかりに目が行き、ゴミを拾うことはロス(遠回り)だとか考えませんでした。彼は長い病魔との闘いの中で、ただゴール(人生の終わり)を目指すのではなく、ゴールまでの道のりを充実したものにすることを身につけているのだと思いました。

四点目は、「全力を出し切ったほうが、人の支えを感じられる」ということです。

このウォーキングは、元々、社員達が疲れて会話が少なくなったことがあり、そのときにみんなで30km歩いたのが始まりでした。

普通に考えると、疲れているときに疲れることをすればもっと疲れと思われがちですが、炎天下の中を30kmも歩くと、一緒に歩いている仲間達の存在に心底支えられます。ゴールした時にそんな仲間と味わう達成感は格別なものです。

人は全力を出し、自分の力の限界に近づくと、人の支えの大きさを知り、人の温かさを味わえると思います。今日の日本は、物が豊かになったため、何かに全力で取り組まなくても生活が出来るようになった反面、やり甲斐や、人の支えを実感する機会が少なくなった気がします。

私達の人生もいつか必ずゴールします。私達はその時までどんな人生を歩き続けるのでしょうか? 精一杯生きて、自分を支えてくれた人のやさしさを十分に味わえたら素敵な人生だと思います。

人を信じられる日本に

先日、私の会社が警察から表彰していただきました。

新聞記事を同封しますので見ていただければお分かりだと思います。お年寄りを対象とした悪徳リフォーム業者の捜査に協力したことに対する感謝状です。

最近の日本では、こうした悪質な訪問販売だけでなく、オレオレ詐欺など、長年まじめに働いてコツコツと貯めたお年寄りのお金を狙った犯罪が増えています。

日本はいつから子どもに声をかけることの出来ない国になってしまったのでしょうか? どんなに物が豊かになり、生活が便利になっても、そこに住む人が人を信じられない社会は決して豊かではないと私は思います。人を疑うことを教えられて生きていく子どもたちは、本当に不幸だと思うのです。

今回、社員が刑事さんと北は青森まで行きましたが、警察が行くまで騙されていることに気づいていない人がたくさんいるのです。そんなに良い人が大切にしているお金を、騙し取られてしまう世の中は、本当にどうかしていると思ってしまう。

人と人が信じあえる国にしていきたいと思います!

今月の活動情報

活動を早く知りたい方は、ホームページで、

- 11/1~5 前期CLトレーニング (オリジン山中湖研修所)
- 11/4(土) 山中湖建設的な生き方を学ぶ会 (安心サービス)
- 11/5(日) 南アルプス建設的な生き方を学ぶ会
- 11/9(木) 沼津建設的な生き方を学ぶ会 (原地区センター)
- 11/9(木) 沼津経営塾 (沼津市民文化センター)
- 11/10(金) 「素敵な子どもを育てるために」 (磐田市立向笠小学校)
- 11/11(土) 「素敵な子どもを育てるために」 (沼津原地区推進委員会)
- 11/11~12 経営塾「マネージメント・ゲーム」 (オリジン)
- 11/13(月) 「小さな会社の戦略」 (株式会社アーティスティックス)
- 11/14(火) 浜松建設的な生き方を学ぶ会 (京丸園)
- 11/15(水) 「不完全なあなたへ」 (社団法人下妻青年会議所)
- 11/16(木) 東京掃除に学ぶ会 (東京都新宿)
- 11/18(土) 島田建設的な生き方を学ぶ会 (オリジン)
- 11/19(日) 「素敵な子どもを育てるために」 (石川七尾市PTA連合会)
- 11/20~24 社員旅行 (バリ島)
- 11/25~26 東京経営塾「マネージメント・ゲーム」 (田町・コネクト)
- 11/27(月) 「幸せに生きる秘訣」 (島田市立初倉中学校)
- 11/29(水) 東京建設的な生き方を学ぶ会 (田町・コネクト)
- 11/30(木) 東京経営塾 (田町・コネクト)

先月は、私の大切な方のところまで続けてご不幸がありました。

自分を愛してくれた人がいなくなり、もう二度と会えないということは本当に辛く悲しいことです。そんな私に、広島市の半田正興さんから一遍の詩が届けられました。

今日という日

「あなたが くだらないと思っている今日は、
昨日、亡くなった人がなんとかして生きたかった
なんとしても生きたかった今日なんです」

半田さんは、この詩を福山市の下江大録様からいただいたそうです。

人の死は、本当に寂しく辛いものですが、その分生きさせてもらっている私達は今日を大切にしなければならぬと思いました。